

泉大津市内のカフェ



愛の家グループホームあびこ 花水木の会
(我孫子150番地)
偶数月・第2土曜日・午後1時30分～3時
参加費無料

愛の家グループホームあびこ ☎21-7150

紅球院ハマダ 花水木の会
(東助松町4-3-41)
毎月・第3水曜日・午後1～3時
参加費無料/飲食代はメニューどおり

地域包括支援センター ☎21-0294

一隅を照らす庵 (戎町5-13)
毎月・第3月曜日・午後1時30分～4時
参加費無料/飲み物代100円

川端医院 ☎32-2580

令和7年7月より 移転します!!

(開催日時)
毎月第4水曜日 13時～15時

- ✓ 認知症や介護の相談
- ✓ 認知症の人や家族の居場所
- ✓ みんなの交流の場

中央商店街 風街



総合福祉センター

問合：泉大津市地域包括支援センター
東雲町9-15 (総合福祉センター内)
人カフェホームページ (二次元コード)
☎0725-21-0294

協力：愛の家グループホームあびこ
☎0725-21-7150

「認知症」は、だれもがなるかもしれない、とても身近な脳の病気です。「記憶」、「計画」、「判断」などが難しくなり、さまざまな生活のしづらさが現れてきます。
認知症の人たちは、今までの自分と何かが違うと感じたり、不安を感じやすいため、苦しい思いや悲しい思いをしています。いろんな人のおしゃべりや交流は、気持ちを落ち着けたり、認知症の進行を遅らせることにつながると言われています。「人カフェ」は、そんな本人・家族の居場所となることを目指して開催しています。

包括だより



発行所
泉大津市地域包括支援センター
(泉大津市社会福祉協議会)
Tel 0725-21-0294
〒595-0026 泉大津市東雲町 9-15



助松団地 S. Nさん (94歳)

Q. これまでの人生を振り返って A. 堺市出身で4人きょうだい。女学校時代はまだ戦時中でした。その中でも忘れられないのが空襲があった時のこと。大浜の方から敵機が飛んできて焼夷弾がたくさん落ちてきています。中、私も布団を頭にかぶりながら仁徳天皇陵の方まで何万人と逃げていた。その中で小学校3年生の子が一人で逃げていて、周りの大人も気にかけていた。聞くとお母さんは来る道で焼夷弾に当たってしまい亡くなったよう。そのお母さんが背負っていた赤ちゃんを、その子が背負ってきたけど、逃げられなくなって途中の川にその赤ちゃんを置いてきた。その話を聞いて、自分も今の中学生くらいの年だからからどうすることもできなくてね。それだけが本心に忘れられない。戦争はダメなこと。本当に愚かなことだね。あんな思いはもうしたくないね。今のお家には50年くらい前から住んでいます。ここに住むのもなかなか当選しなくて、何度も申し込んで団地

Q. 元気の秘訣は? A. なんでも食べることかな。自分たちの時代の人は戦後の厳しい状況を生きて抜いてきた人が多いから、元気な人が多いよ。私の周りに90歳の友だち3人いてるけど、みんな元気ですよ。戦後すぐは堺のほうも焼け野原で食べるものが本になかった。アメリカからもらったとうもろこしのしほりカスとか生えていた雑草とかをメリケン粉もなから一生懸命固めて焼いたものなど、本当になんでも食べたよ。昔は本当にものがなかったからね。配給もあまりなかったし、自分たちでどうにかするしかなかった。そういう時代を生きてきたから、今はなんでもおいしいと思います。儉約しながらね。まあ、贅沢はしたいけどね(笑)このまま長生きしたいと思います。

Q. 最近楽しんでることは? A. お友達とお話することですね。体操のサークルに行ったり、その中でもグループになってそのお友達と月に一回



【実家の家族写真】

編集後記
とてもお話し上手なSさん。活発にいろいろな活動に取り組みされているお話やご友人と一緒に行くお食事会のお話など、とても明るくお話を、前向きな気持ちにさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

Q. 若い人に一言 A. 今の幸せを大事に! 今の時代は本当に恵まれてるから、今ある幸せを大事に、生きてほしいね。お食事会に行ったりしてとても楽しい時間を過ごさせてもらっています。桜の季節には、お家の周りで桜まつりがあるので、そういったところにも行ったりしています。しゃべるのが本当に楽しいので、それが最近の楽しみにもなっています。話すのがご馳走です。